



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日 東

上場会社名 クオール株式会社 上場取引所
 コード番号 3034 URL <http://www.qol-net.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 福満 清伸 (TEL) 03-6430-9060
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	55,621	13.5	1,551	52.6	1,570	47.0	678	88.0
26年3月期第2四半期	49,022	44.3	1,016	67.8	1,068	63.5	361	27.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 661百万円(87.5%) 26年3月期第2四半期 352百万円(21.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	20.76	—
26年3月期第2四半期	12.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	57,969	17,779	30.1
26年3月期	53,904	17,374	31.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 17,431百万円 26年3月期 17,034百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
27年3月期	—	8.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,800	11.7	3,700	75.7	3,700	67.5	1,700	118.7	51.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	33,148,500株	26年3月期	33,148,500株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	376,200株	26年3月期	490,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	32,709,579株	26年3月期2Q	29,330,332株

(注) 自己株式数には、従業員持株ESOP信託口の所有する当社株式を含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

当四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、当四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(その他特記事項)

当社は平成26年11月12日(水)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積り変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成26年4月に実施された消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動はあるものの、企業収益、雇用・所得環境に改善がみられるなど、緩やかな回復基調の動きがみられました。

保険薬局業界においては、平成26年4月に調剤報酬改定及び薬価改定が実施され、厳しい経営環境となっております。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は、売上高55,621百万円（前年同期比13.5%増加）、営業利益1,551百万円（前年同期比52.6%増加）、経常利益1,570百万円（前年同期比47.0%増加）、四半期純利益678百万円（前年同期比88.0%増加）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 保険薬局事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、既存店売上加え、平成25年10月以降の新店及び新規取得子会社の売上が寄与し、堅調に推移いたしました。出店状況につきましては、新規出店12店舗、子会社化による取得8店舗の計20店舗を出店した一方、閉店により6店舗減少した結果、当社グループ全体での店舗数は直営店532店舗、フランチャイズ店2店舗となりました。この結果、売上高は前年同期比5,669百万円増加し50,103百万円（前年同期比12.8%増加）となりました。営業利益は、主に新規取得子会社の利益が寄与し、前年同期比138百万円増加し1,643百万円（前年同期比9.2%増加）となりました。

② その他事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、主にCSO事業を営むアポプラスステーション株式会社の業績が寄与した結果、売上高は前年同期比930百万円増加し5,518百万円（前年同期比20.3%増加）、営業利益は前年同期比356百万円増加し389百万円（前年同期比1,097.7%増加）、となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、57,969百万円となり、前連結会計年度末から4,065百万円増加しております。

これは主に、現金及び預金が812百万円、受取手形及び売掛金が3,288百万円増加、商品及び製品が1,562百万円減少し、流動資産合計が2,350百万円増加したことによるものであります。また、のれんが1,920百万円増加したことにより、無形固定資産が1,887百万円増加したことによるものであります。

② 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、40,190百万円となり、前連結会計年度末から3,660百万円増加しております。

これは主に、長期借入金が4,053百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、17,779百万円となり、前連結会計年度末から405百万円増加しております。

これは主に、利益剰余金が352百万円増加したことによるものであります。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが1,063百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが3,425百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが3,251百万円の収入となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ890百万円増加し、5,848百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益1,512百万円、減価償却費771百万円及びのれん償却額710百万円等により、1,063百万円の収入(前年同期960百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出729百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出2,635百万円等により、3,425百万円の支出(前年同期5,231百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入による収入7,708百万円、長期借入金の返済による支出2,428百万円等により、3,251百万円の収入(前年同期5,110百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日付の決算短信で公表いたしました通期連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を第1四半期連結会計期間より適用しておりますが、従来採用していた方法により会計処理を行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,162	5,974
受取手形及び売掛金	10,940	14,228
商品及び製品	5,954	4,392
仕掛品	60	188
貯蔵品	135	126
繰延税金資産	710	714
その他	1,174	858
貸倒引当金	△19	△15
流動資産合計	24,117	26,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,690	4,685
工具、器具及び備品（純額）	1,244	1,141
土地	2,228	2,218
その他（純額）	145	108
有形固定資産合計	8,309	8,153
無形固定資産		
のれん	16,317	18,238
ソフトウェア	843	785
その他	149	174
無形固定資産合計	17,311	19,198
投資その他の資産		
投資有価証券	547	555
敷金及び保証金	2,690	2,576
繰延税金資産	309	317
その他	602	686
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	4,147	4,132
固定資産合計	29,767	31,484
繰延資産		
社債発行費	18	16
繰延資産合計	18	16
資産合計	53,904	57,969

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,704	14,647
短期借入金	2,020	440
1年内返済予定の長期借入金	3,713	5,135
未払法人税等	470	871
賞与引当金	1,266	1,485
その他	3,276	2,661
流動負債合計	25,450	25,241
固定負債		
社債	1,624	1,462
長期借入金	8,360	12,414
繰延税金負債	56	42
役員退職慰労引当金	302	309
退職給付に係る負債	135	147
資産除去債務	473	472
その他	125	98
固定負債合計	11,078	14,948
負債合計	36,529	40,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,828	2,828
資本剰余金	9,085	9,087
利益剰余金	5,371	5,723
自己株式	△298	△228
株主資本合計	16,987	17,410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	20
その他の包括利益累計額合計	46	20
少数株主持分	339	347
純資産合計	17,374	17,779
負債純資産合計	53,904	57,969

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	49,022	55,621
売上原価	43,785	49,362
売上総利益	5,236	6,259
販売費及び一般管理費	4,219	4,707
営業利益	1,016	1,551
営業外収益		
受取家賃	13	22
受取手数料	21	25
保険解約返戻金	68	0
持分法による投資利益	1	-
補助金収入	5	11
その他	50	51
営業外収益合計	160	111
営業外費用		
支払利息	62	67
株式交付費	23	-
その他	23	25
営業外費用合計	109	92
経常利益	1,068	1,570
特別利益		
固定資産売却益	20	0
事業譲渡益	16	-
その他	-	0
特別利益合計	37	0
特別損失		
固定資産売却損	11	4
固定資産除却損	99	19
減損損失	-	35
特別損失合計	110	59
税金等調整前四半期純利益	994	1,512
法人税等	620	825
少数株主損益調整前四半期純利益	374	686
少数株主利益	13	7
四半期純利益	361	678

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	374	686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	△25
その他の包括利益合計	△21	△25
四半期包括利益	352	661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	340	653
少数株主に係る四半期包括利益	12	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	994	1,512
減価償却費	720	771
のれん償却額	570	710
持分法による投資損益(△は益)	△1	-
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△14	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	7
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	7
賞与引当金の増減額(△は減少)	133	189
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△4
株式交付費	23	-
固定資産除売却損益(△は益)	90	22
減損損失	-	35
事業譲渡損益(△は益)	△16	-
受取利息及び受取配当金	△12	△10
支払利息	62	67
たな卸資産の増減額(△は増加)	△328	1,613
売上債権の増減額(△は増加)	96	△2,783
仕入債務の増減額(△は減少)	△15	△706
その他	△528	128
小計	1,773	1,562
利息及び配当金の受取額	10	8
利息の支払額	△64	△68
法人税等の支払額	△759	△438
営業活動によるキャッシュ・フロー	960	1,063
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△168	△87
定期預金の払戻による収入	140	214
有形固定資産の取得による支出	△680	△729
有形固定資産の売却による収入	44	27
投資有価証券の取得による支出	-	△49
投資有価証券の売却による収入	-	3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4,266	△2,635
事業譲渡による収入	75	-
無形固定資産の取得による支出	△161	△170
貸付けによる支出	-	△2
貸付金の回収による収入	33	2
敷金及び保証金の差入による支出	△81	△88
敷金及び保証金の回収による収入	56	231
その他	△223	△141
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,231	△3,425

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△83	△1,580
長期借入れによる収入	2,922	7,708
長期借入金の返済による支出	△1,958	△2,428
社債の発行による収入	1,262	-
社債の償還による支出	△161	△161
株式の発行による収入	3,381	-
自己株式の処分による収入	63	70
配当金の支払額	△306	△325
その他	△8	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,110	3,251
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	838	890
現金及び現金同等物の期首残高	5,268	4,957
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,107	5,848

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。